

たいない 議会だより

No.48

平成28年8月12日
(2016年)

【題字】おおいすみ あかね 大泉 茜さん



村松浜在住の浮須さんファミリー

左から 小百合（さゆり）さん 3歳、華子（はなこ）さん 6歳、
健汰（けんた）さん 小2、汰郎（たろう）さん 小4

主な内容

平成28年第2回定例会の議決結果	2ページ
一般質問（10人）	3～12ページ
常任委員会審査	13ページ
まちづくり常任委員会行政視察	14ページ
市民と議会の意見交換会	15～16ページ
わいわい会議と議会の意見交換会	16ページ
平成27年度政務活動費収支結果報告	17ページ

平成 28 年第 2 回定例会の議決結果

第2回定例会は、6月10日から6月28日までの19日間にわたって開催されました。市長提出議案につきましては、専決処分の承認が5件、補正予算が6件、条例の一部改正が4件、条例の廃止が1件、諮問1件、その他4件が審議され、下記のとおり議決されました。

また、議会から提出された議員提出議案（意見書）1件が審議され、下記のとおり議決されました。

議案名	議員名																	議決結果※1	賛成※2	反対※2	
	薄田智	森本将司	八幡元弘	佐藤陽志	渡辺秀敏	坂上清一	小野徳重	渡辺栄六	天木義人	佐藤武志	榎本文雄	森田幸衛	高橋政実	桐生清太郎	富樫誠	渡辺宏行	丸山孝博				
平成 27 年度補正予算																					
一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	17	0
水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	17	0
平成 28 年度補正予算																					
一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	17	0
一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
条例の一部改正																					
市長提出議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	17	0
税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	17	0
国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	17	0
議会議員及び胎内市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
議会の議決に付すべき事件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
条例の廃止																					
芸術文化交流施設建設基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
諮問																					
人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任	17	0
その他																					
損害賠償の額の決定及び和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0
出議員意見書																					
適正規模の少人数学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	17	0

※1 「可決」：全員賛成または、賛成多数により可決。専決処分の場合は「承認」、諮問については「適任」

「否決」：賛成少数または賛成なしにより否決されたもの。

※2 議長は地方自治法第116条により表決には参加しないため、表決に参加する全議員数は17名です。

※3 賛成者は「○」、反対者は「×」とします。

胎内市議会 会派構成 平成28年4月1日より、新たな会派構成となりました。

会派名	会長	副会長	幹事長	会計	会員		
政和会	富樫 誠		森田 幸衛	天木 義人	渡辺 俊	小野 徳重	森本 将司
緑風会	渡辺 宏行		薄田 智	八幡 元弘	坂上 清一		
志政会とみどりの未来	高橋 政実	佐藤 陽志	桐生 清太郎	渡辺 秀敏			
日本共産党	丸山 孝博						
公明党	渡辺 栄六						
農政会	榎本 文雄						
新風の会	佐藤 武志						

※が変更となりました。



榎本文雄議員

嘉平山の有効利用について

議員 嘉平山は当時、何を目的として高額な税金を投じて購入されたのか、その目的の意図は。

また、合併後、10年が経ち、合併以前に購入した嘉平山は、いまだに放置されているが、放置されている理由はなにか。

今後、市民に負担の掛からない有効利用を考えているのか。

市長 当時、林地開発を行っていた事業者が倒産したことにより、周辺住民の生活環境が悪化する恐れがある為に、平成14年に嘉平山を購入し、県の担当部署の指導を仰ぎながら、史跡公園、宅地造成等も含めて多角的に検討し、早期に方向付をする。

羽越大水害について

議員 羽越大水害から来年で50年。胎内市として、どのような式典行事を考えているのか。

また、以前にハザードマップを市民に示していたが、新しく総合体育館が完成し、避難場所の変更も考えられる。

今一度、見直し、市民に知らせる

べきではないのか。

市長 来年8月に国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所が主幹でやる。

市としては、被害を受けた地区での防災訓練や、水害に関する講演会を計画しているし、防災ガイドブックを加除修正し、周知を図る。



関沢大橋から見た嘉平山

地域団体からの要望について

議員 各地域からの要望がどの程度上がっており、地区要望に対して、どのように対処しているのか。

また、各団体などへの補助金支出があったが、現在は、すべて補助金を廃止しているのか。

市長 要望は多岐にわたっている。必要性や緊急性を検討した上で、重要と認められる案件を優先的に対

応している。

補助金については、今後も補助金の目的や公益性の確保といった観点から、必要とされる支援は積極的に行っていく。

胎内市の農業について

議員 2年後、減反廃止、戸別所得補償制度が廃止、代わりうる制度の要望と飼料用米への転換が進まない訳合いは、市としてどのような対策が図られるのか。

市長 米価安定を図る措置や経営所得安定対策の充実、強化等、生産現場の不安解消に向けて訴えかける。飼料用米は需給のバランスを考え、JA胎内市と連携しながら転換を進める。



田植えの風景

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

防災対策について



佐藤陽志議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

議員 当市の防災計画の見直しは定期的に行っているか。想定地震の大きさ、避難所の数、収容人数の想定、物資の備蓄、仮設住宅用地などの確保は適当か。

市長 本年度、県からの新たな津波浸水想定と新潟県地域防災計画が示された段階で見直しを行う。想定地震の大きさはM6.8。市の総合避難所の数は、市の管理施設が21カ所、県のが4カ所で、2万6千772名を収容できるが、不足した場合は小

中学校の校舎を使用し、市の人口以上の収容が可能である。物資の備蓄として、食料は県が公的備蓄の必要量として示す量（7千500食）を上回る9千食を確保。毛布670枚のほか、テント、担架、仮設トイレ、浄水装置を備蓄している。仮設住宅用地の確保は、旧小学校のグラウンドや未利用の工業団地等を考えている。



ふれすば胎内の備蓄食料



定員適正化計画と民間委託について

議員 現在の非正規職員の割合はどの程度か。今後どのように推移するか。また、指定管理者の管理運営に対する評価はどのように行っているか。例えば、施設管理は適正か、利用者満足度は調査しているか、運営実績はどうか、事業者の提案する内容は達成されているかなど総合的に考えているか。

市長 職員全体に占める臨時、パート職員の割合は約38.5%。これからも同様の水準で推移すると考える。委託の事務事業評価として住民満足度等の要素も盛り込みながら検証し、さらに公共施設総合管理計画における検証についても実施していく。

議員 再任用の際の昇給制度は、

総務課長 保育士等ではある。

議員 委託している施設において、住民に対して、意見や要望を聞くシステムはあるか。

総合政策課長 採算性、効率性という長所と合わせ、市民に満足してもらえそうな制度運用を、これからも徹底して行う。

市が管理する賃貸物件でペットを飼うことに関して

議員 市が管理する賃貸物件において、ペットを飼ってもよいところはあるか。

市長 条例ではかの入居者に迷惑を及ぼす行為を禁止している。においや鳴き声など、不快に感じる方もいると思われ、現在はお断りしている。

議員 戸建の方は検討できないか。
地域整備課長 アレルギー体質の方もおり、お断りしている状況である。





坂上清一議員

国道290号線の 道路整備、歩道整備 の促進について



国道290号線坪穴付近

議員 鼓岡・鍛江バイパス完了から胎内市内（大長谷）地域にあっては施工中の箇所は無く、この先、未施工区間である大長谷、持倉、須巻、坪穴地内の施工はいつ行われるのか。また、どのような見通しになっているのかを伺うと共に、早期着工整備を関係機関に強力に働きかけをお願いしたい。

市長 現在、道路管理者である県において事業に着手している箇所は大長谷の道路拡張及び、坪穴から須巻までの道路拡張である。大長谷については延長15mで、今年度は用地買収が予定されている。坪穴から須巻までの区間は、坪穴寄りの延長850mで、今年度は地元説明と用地測量が予定されている。施工の見通しは、いずれも用地買収後の着手となる。市としては、道路管理者である県に対し、毎年整備要望を行っており、引き続き県へ強く要望していく。

市道鼓岡下赤谷へつり線の維持管理と水道管の保護について

議員 黒川地区全域にわたる水道管が布設されている現状から、土砂崩れや雪崩による災害が水道管の破損につながった場合、大変な事態になることが予想される。災害の発生しやすい箇所の災害防止施設の整備を早急に進める必要があると思うが。

市長 年数回の点検のほか、台風や大雨の後には当該箇所を巡回するなど、水道管の保護に努めている。雪の影響により発生した倒木の処理や沿線の除草作業を雪解け後の4月に行うなど、市道の維持管理にも努めている。

議員 水道管が災害で破損した場合、黒川、中条間でバルブ1つのあけ閉めで水道水のやり取りはできるのか。

上下水道課長 簡易水道と上水道は平木田駅前から近江新へ向かう路線のバルブでとめられている。あけると上水道の水を簡易水道へ送ることができない。

蔵王山の森林の有効活用について



蔵王権現（国指定史跡）

議員 青少年が自然に親しむ森として遊歩道を設置する整備の構想は。蔵王山全体を活用し、市民の健康保持、観光登山来訪者の増加による市の活性化につながる構想を検討しては。

市長 今後の蔵王権現などの史跡めぐりや自然散策が楽しめるよう遊歩道等整備し、市民の健康増進や観光登山の活性化につなげたい。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

施策の実効性について



渡辺 秀敏 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

議員 現在、第2次総合計画の策定中であるが、限られた財源の中でどのように実効性を確保していくのか。

市長 実施する事業の有効性や費用対効果などを念頭におき、重要度や優先度を仕分けして展開していく。

議員 実施途中で情勢が変わり計画の見直しを行う場合も市民の声を反映させることができるか。

市長 市民による外部評価や市民満足度調査を実施し、適宜必要な見直しを行っていく。

議員 公益性のある地域の要望に関し、個人で直接行うことができないか。また、インターネットを活用しての要望は可能か。

市長 現在は地域と行政のつなぎ役である区長を通じて要望を出してもらっている。また、市では「市長への手紙」というものを開設しており封書によるものだけでなく、インターネットを活用してメールでも意見や提案を寄せてもらっている。建設的なものについては傾聴していく。

スポーツ振興について

議員 新総合体育館「ぶれすぽ胎



ぶれすぽ胎内のトレーニングルーム

内」がオープンし、利用者数も上々である。そのような中、トレーニングルームとランニンググレンに関する、多くの利用者が回数券や定期券を望んでいるが、取り入れる考えはないか。

教育長 今後の利用状況や利用者ニーズを勘案し、近隣の施設等も参考にしながら、利用しやすい環境づくりとして前向きに検討していきたい。

議員 今年度から体育協会・スポーツ少年団・総合型スポーツクラブのいずれにも加入していないスポーツ団体の施設利用料金が8割減免から3割減免になったのはなぜか。元どおりにできないか。

教育長 受益者負担の原則と利用者間の公平性の観点から再検討し、当該規則の改正を行ったので、理解いただきたい。

災害時の高齢者避難誘導について

議員 津波などの一刻を争うような災害時、要介護状態にある高齢者の避難誘導についてどのように考えているか。

市長 在宅の場合は胎内市災害時要援護者避難支援プランに基づき要介護3以上の方の情報を行政、地域、自主防災組織、警察署、消防署等で共有するとともに名簿を区長に渡して避難支援の体制づくりを推進している。施設に入所中の場合は基本的には各施設で対応していただくことになるが、必要に応じて迅速な避難誘導ができる体制づくりを支援していく。いずれにしてもできるだけ迅速に情報伝達を行うようにする。



塩の湯温泉の海拔表示



八幡元弘議員

道路と橋梁の点検、維持管理、メンテナンスについて

議員 道路と橋梁の点検、維持管理、メンテナンスの頻度と方法は、

市長 道路の補修に関しては、これまでの補修頻度に応じて不定期にパ

トロールを実施し、また、市民からの通報を受け、随時対応している。路肩の除草作業は、年に2回実施している。橋梁については、平成26年

7月の道路法の改正に伴い、市道に架かる308橋は、5年に1回の頻度で近接目視による点検が義務化され、平成27年度から平成30年度の4年間で全橋梁の点検を実施している。

議員 橋梁の耐震や老朽化に対してどのような対策を行っているのか。

市長 橋梁の点検結果をもとに補修計画を策定する。昨年度の点検により、劣化進行が危惧される橋梁もあるので、注視しながら対策を講じていきたい。

議員 胎内川に架かる橋梁は、建設からかなりの年数が経過しているが今後の対応は。

市長 歩道のない橋梁や古い橋梁についての更新は毎年、県に要望している。

地域整備課長 歩道のない橋梁や古い橋梁についての更新は毎年、県に要望している。

主な胎内川橋梁と建設年（上流からの順）

橋梁名	建設年	橋長
1 菅平橋	昭和45年（1970）	94.6 m
2 新宮寺橋	昭和45年（1970）	105.7 m
3 胎内平橋	昭和63年（1988）	127.2 m
4 夏井大橋	平成11年（1999）	92.0 m
5 鼓岡大橋	昭和61年（1986）	278.0 m
6 胎内川橋	昭和34年（1959）	160.7 m
7 黒中橋	昭和54年（1979）	70.2 m
8 樽ヶ橋	昭和44年（1969）	87.6 m
9 黒川大橋	昭和49年（1974）	157.6 m
10 黒川橋	昭和32年（1957）	200.5 m
11 鳥坂大橋	平成3年（1991）	215.2 m
12 高野橋	昭和37年（1962）	184.8 m
13 新胎内橋	昭和41年（1966）	144.3 m
14 胎内大橋	昭和53年（1978）	202.5 m

防災と災害対応について

議員 合併後、市役所での消防訓練を実施していなかった理由と、その後の対応は。

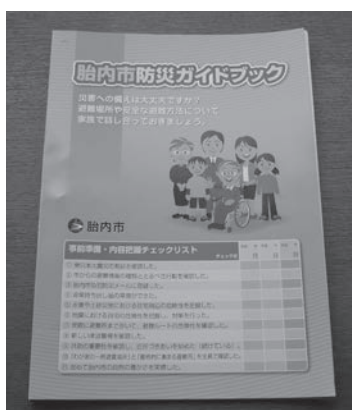
市長 消防法に基づき、年1回以上の消防訓練を定めていたが、認識不足と来庁者への配慮や日常業務を優先したため、実施できていなかった。今年度は、本庁舎及び黒川支所でも実施した。今後も、適切に実施していきたい。

議員 地域、地区ごとに懸念される災害の種類や時間帯でも対応が異なるが、どのような想定、対応を考えているのか。

市長 海岸部では地震や津波、山間部では土砂災害、平地部では風水害を想定し、地域の特性に合わせて訓練を計画している。時間帯でも対応の仕方は変わってくると考えており、各種災害や発生時間帯を幾重にも想定し、迅速かつ的確な対応をとる体制づくりに取り組んでいく。

議員 各集落の集会所の耐震診断は行っているのか。

市長 集会所は、一時避難所となっており、住民の安全確認や一時的に留まる施設と位置付けている。避難が長期化する場合は、耐震化された指定の総合避難所に避難することになる。集会所の管理は各集落で行っているため、耐震診断を行っているかは把握していない。



防災ガイドブック

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

就学援助制度の所得基準の引き上げを



丸山孝博議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

議員 就学援助制度の周知徹底や援助内容の拡充など、たびたび議会質問してきたが、制度の充実のため所得基準を引き上げるべきではないか。

教育長 近隣市町村の動向も参考にしながら検討することにした。

議員 保護者に対する制度の徹底方法はどうか。

教育長 昨年度までは、希望する保護者から申請してもらったが、今年度からは全保護者に配布したがその結果、若干増えた。

議員 当市の所得基準は、生活保護基準の1.3倍だが、1.5倍にした場合どの程度増えるのか。今後見直しすべきでは。

学校教育課長 8世帯、11人増える。

教育長 人口増につながればというところもあるので検討していきたい。

保育施設の適正配置とは

議員 市長は新年度施政方針の子育て支援の中で、特にゼロ歳児保育を希望する世帯が増えており、保育

士等の確保に努め、今後の保育園、認定こども園の配置等について検討すると述べているが、具体的内容は。

市長 6月6日に、10人で構成する1回目の市立保育施設等適正配置問題審議会を開催した。近年3歳未満児の保育を希望する世帯が増え、特に年度途中の入園希望については待つていただいている状況であることから、その受け入れ体制の整備を図るため、審議をお願いし8月末までに5回を予定している。

議員 希望する保護者が安心して子どもを預けられるようにすべきだがどうか。

副市長 来年度からは年度途中からでも受け入れ、真の待機児童ゼロにしていきたい。

観光PRにメディアの活用を

議員 観光客はメディアやSNSなどの取り上げによって大きく異なる。大いに活用すべきではないか。テレビ放映は事前・事後にネットなどで知らせるべきでないか。

商工観光課長 そのとおりに進めるよう努力したい。



観光交流センター

医療介護新総合事業について

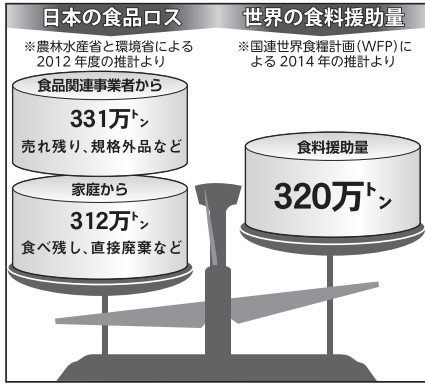
議員 来年度からはじまる医療介護新総合事業の準備状況は。指定事業者によって提供されるサービスは、現行基準を緩和させないこととされているが。

市長 4月に1回目の協議会を開催し、意見交換会を行なった。専門的ケアを必要としない方には緩和した基準にしたい。



渡辺 栄六 議員

食品ロス削減について



日本の食品ロス量と世界の食料援助量

議員 発展途上国などで食料不足、飢餓が深刻な問題となる一方、国内では、まだ食べられる食料が廃棄されてしまう「食品ロス」の解消が大きな課題になっている。本市として「食品ロス削減国民運動」をどのように認識しているか。

市長 食品ロスの現状や、その取り組みについて市報やホームページ等により周知しているほか、食べ物への感謝の心を育む食育の取り組みを推進していきたい。

議員 家庭や企業で余っていたり、規格外のために流通しなかったりする食品を集めて、生活困窮者や福祉施設に届ける「フードバンク」の推進についての考えはないか。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

市長 待機者の方々にはスムーズに入居できるように、補修工事をしていく。また、建設から30年を超えているもので長期の活用が見込まれない場合は廃止を基本とし、公営住宅の耐用年数や入居状況を勘案して判断する。

議員 老朽化している市営住宅の補修工事や、取り壊しの年次計画はあるか。

市営住宅に くさくさ



市営黒川住宅を取り壊した更地

市長 市及び胎内市社会福祉協議会では、新潟市内のフードバンクの団体と提携しており、提供も行なっている。また、今後の動向を見きわめながら関係機関と連携して対応していきたい。

議員 本市のジェネリック薬品の普及と使用割合の目標は。

市長 ジェネリック薬品の使用割合は現在、市の数量ベースで54%であり、さらなる普及に努めていく。

市長 薬剤師がかかりつけ医と連携し、患者の服薬状況を把握することで医療の質が高まり、医療費の削減に繋がっていくものと考え、市としてもその周知に努めていく。

議員 多くの病院や診療科からバラバラに処方されて薬の種類や量が多くなり、飲み残しが増えることになる。高齢者の残薬解消への取り組みについて伺う。

医療費削減の 取り組みについて

議員 市営黒川住宅を取り壊した更地を宅地にして、分譲してもらいたいとの地域住民の要望があるが計画はないか。

市長 一部を駐車場と除雪時の雪捨て場とする要望があるが、さらに地元集落の意向を取りまとめた上で考えていきたい。

胎内市 まちなか活性化について



森本将司議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

議員 今年度より市内で高齢化率の特に高い畷江・坂井地区に首都圏より2名の方が地域おこし協力隊として来ました。しかしながら山間部だけでなく北本町など町場に於いても深刻な高齢化が進んでいる。他の自治体では地域おこし協力隊が商店街に出店活動をして活性化に繋がっている例をいくつも耳にする。現状胎内市の地域おこし協力隊の2名という数は今後増員の余地があると思う。今後は商店街などの町中に来て頂くことで活性化に繋がると考えるがいかがか。

市長 地域おこし協力隊を所管する総務省では平成27年度で2千600人であった隊員を今後5年の間に4千人とすることを目標としている。当市においても今回の一期生の成果や反応を見て今後の受け入れを検討したいと思っている。その前段として協力隊と一丸となって地域おこしを行うという地域の総意が必要となる為、共通の認識としなければならぬ。今後は他の自治体の活動も参考にしつつ町中への受け入れも検討していく。



道の駅で山菜を販売する地域おこし協力隊

議員 大型ショッピングセンターなどの出店により全国的に地域商店街の衰退が問題になっている。しかしながら新潟市の沼垂商店街は若者達が集まってシャッター通りを改装して空き店舗ゼロに商店街を復活させた例がある。地域の再生には若者の力が必要不可欠であるが、若者が出店しやすい環境づくりとして家賃を一定期間補償するようなチャレンジショップ制度を導入してみてはどうか。

市長 他市町村でも新規創業支援に取り組んでいることは知っており、手法についても様々あるようである。ただ空き店舗の利用については

所有者の合意は基より商店街全体の合意も必要となる為、環境の整備も不可欠である。今後はどのような取り組みが実効を上げているのか先行事例を参考にしつつ、総合的に勘案した上で推進していく。



沼垂テラス商店街

【その他の質問】
胎内市における自殺防止の取り組みについて



森田幸衛議員

農業振興について

議員 胎内市の耕作放棄地の現状と対策については。

市長 平成27年度で約79ヘクタール（黒川地区55ヘクタール、乙地区11ヘクタール、築地地区14ヘクタール、中条地区0.2ヘクタール）であり、対策として中山間地では山菜、砂丘地では甘草・紅はるかの栽培を推奨している。

議員 国・県の交付金等を活用しながら、耕作放棄地対策を専門に行う組織や会社を育成する考えは。

市長 その前段として耕作放棄地農家の方々の理解を求めることが最初なのではないかと考える。

議員 堆肥センターにおける堆肥の材料として黒川地区だけが生ゴミを供給しているが、同じ市内でゴミの出し方に差があるのはいかがなものか。JAカントリーから排出される残渣は堆肥材料に適しているので段階的に切替えていくべきではないか。

副市長 黒川地区の生ゴミは年々減っている現状である。カントリーの残渣は大量なので、その処理についてはJAと話し合いながら一番良い方法を見出していかなければならないと考える。



チューリップフェスティバル2016

観光振興について

議員 今年のチューリップフェスティバルの最終日とした5月3日は、テレビの影響等で中条ICから車が大渋滞するほど大盛況だったのに、午後3時に終了して、来場者が大勢いるのに花刈りを始めた判断は正しかったのか。

農林水産課長 球根に支障が出るので早く刈りたいという生産者との話し合いの中で、ウェディング終了後刈取りを始める判断をした。

議員 新潟市や佐渡市で実施されているようなスケールの大きい自転車イベントを開催する考えは。

教育長 全長66kmのグルツと胎内チャレンジサイクリングを開催し40

人弱の参加者があった。これを続けていく中で、将来参加者が増え、民間活力が加わり、さらにスケールの大きい自転車イベントに発展していくように事業推進を図りたい。

学校給食について

議員 食材の地元業者からの使用割合（金額ベース）は。また、目標数値等の考えは。

教育長 平成27年度は4千479万円で、食材の総支払額の約34%である。目標数値については特に決めていないが、限られた給食費の中で地元産食材を積極的に取り入れ、地産地消に努めていきたい。



地元産食材を取り入れた学校給食

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

中条大祭の花火 打ち上げ再開について



佐藤 武志 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

議員 「中条まつり」の花火打ち上げ再開について、何度もお願ひしてから、すでに9年が経つ。

昨年9月議会において、実行委員会、関係機関に要望を伝え、協議を行い可能かどうか検討するとしていたが、協議の結論を伺う。

市長 平成19年の、「中条まつり」花火打ち上げを最後に中止してから復活について要望があり、関係機関と可能かどうか協議を行い、候補地の選定を行ってきた。

今年の「中条まつり」から関沢地内の通称「嘉平山」を、打ち上げ場所として実施することに正式に決定した。



打ち上げ花火

防災・防災備蓄 などについて

議員 胎内市には地震、洪水などの様々な災害に対して公的備蓄たる準備を行っていると思うが、在庫の

種類、各品目の種類をどのくらい準備しているのかまた、食料品など何日分を確保しているのか伺う。

また、市内の商店などに、流通備蓄の協力をお願いしている件数は。

市長 人口の30%の2食分に相当する2万食を、その他の物資として毛布1千500枚を目標に備蓄を進めており、本年4月1日現在では、乾燥米約9千食、真空パックの副食約4千900食、水は3千L、毛布670枚のほか、テント・担架・仮設トイレ・浄水装置を備蓄している。

また、各種団体、6社のコンビニエンスストアと災害応援協定を締結している。

議員 胎内市の由来ともなっている「胎内川」の河川敷の場所には、雑木などが密集している。

今後、整備する予定があるのか伺う。

市長 河川区域内は、河川管理者である県が主体となって整備を、行っている。

平成13年12月に計画対象期間を、おおむね30年とする胎内川水系河川整備計画を策定し、過去、最大の洪水であった「羽越水害」と同規模の洪水が発生しても、氾濫による被害を防止することを目標に築堤、護

岸、河床掘削及び、河川環境整備を順次進めている。

また、危険度合いを勘案し、必要に応じて計画を見直すよう、毎年、県・新発田地域振興局との行政懇談会に要望している。



胎内川河川敷

乳がんなどの がん検診について

議員 乳がんは、30代での発症率も高く、より多くの女性が検診を受けられることで命を救えることに繋がる。

また、他の幾種のがんに対しての市の対策について伺う。

市長 受診促進策として、一定の対象年齢の方に、無料で検診を受けられるクーポン券を配布している。
乳がん検診1千356名、肺がん検診3千937名が受けている。

【その他の質問】

・子ども食堂支援について

常任委員会審査

総務文教

胎内市議会議員及び胎内市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

「公職選挙法施行令の一部改正に伴い、衆議院議員及び参議院議員の選挙における選挙運動に関し、選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラやポスターの作成の公費に要する経費に係る限度額が引き上げられたため、これに準じて、胎内市議会議員及び胎内市長の選挙におけるこれらの公費負担の限度額について引き上げをおこなうもの。」

胎内市芸術文化交流施設建設基金条例を廃止する条例

「これは、この4月に開館した胎内市美術館の建設資金として基金を設けていたものであり、美術館の完成に伴い、その役目が終了したことから、本条例を廃止するもの。」

質問 この基金の残額はどのぐらいか。

答弁 残額はゼロである。

厚生環境

国民健康保険事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ359万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を38億4千940万7千円とするもの。」

歳出の主なものとしては、人事移動等に伴い、給料、職員手当等共済費をそれぞれ減額した。」

質問 基礎課税額の限度額が52万円から54万円上がったが、それについての世帯数がどれくらいあったのか。

答弁 医療分の限度額52万円を54万円に引き上げたことに関し、8世帯が限度額から外れることになる。

介護保険事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3千91万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ34億5千191万1千円とするものである。」

歳出では、平成29年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の開始に向けて、高齢者の介護予防教室等の通いの場や、生活支援の活動拠点となる新たな施設整備

に係る事業費を計上した。」
質問 介護予防生活支援施設整備工事で2千852万7千円が上がっているが、施設はどこか。

答弁 築地地区で竹嶋小学校跡地の体育館裏であり、約200㎡弱くらいの木造平屋1棟を予定している。

質問 介護予防ということだが、具体的にどういった施設を目指しているのか。

答弁 機能低下のある方への短期集中プログラムや、要支援者のミニデイサービス、住民運営による通いの場また、地域の茶の間、認知症カフェ開催の場として考えている。

質問 施設管理委託料で警備業務と電気保安が上がっているが、いつから委託するのか。

答弁 議決をいただいた後に進め、12月位までに建設し、1月、2月、3月の委託料である。

産業観光

損害賠償の額の決定及び和解について

「平成27年12月7日に、大出地内の交差点において市職員の運転する公用車と一般市民が運転する乗用車が衝突し、相手方に対して負わせた損害額121万2千289円を負担するとともに和解をしたとするもの。」

質問 過失割合と損害賠償額の内訳は。

答弁 当方が8割、相手方が2割である。車の修理代が73万6千214円、慰謝料が23万7千915円、医療費が23万8千160円である。

質問 公用車の台数と年間の保険料は。

答弁 市長車をはじめ学校、施設関係のトラック等もある。当初予算に計上されているが、リース車もあり、リース契約によって内容が違うので正確な金額は財政課に確認する必要がある。

まちづくり

胎内市議会の議決に付すべき事件に関する条例の一部を改正する条例

「新発田市との定住自立圏形成協定を念頭に、協定の締結に関し、締結、変更または廃止に関すること。」

質問 自立圏構想がまとまるのはいつ頃か。

答弁 議決を前提にすると、9月の定例会に定住自立圏協定の締結の議案を上程する予定。

質問 中心市の新発田市と胎内市で協定し、新発田市と聖籠町で、各々協定するが、この三者の関係はどういう位置づけか。

答弁 基本的には、中心市と近隣市町村の枠組みが設定されている。したがって、胎内市と聖籠町が協定を結ぶという設定はない。協定数は2つの予定。

閉会中 所管事務調査 行政視察 報告

まちづくり常任委員会

期 日・平成28年5月16日

視察先・岩手県遠野市

テーマ・中心市街地における活性化

事業の取り組み

(概要)

遠野市では、平成21年度より5カ年計画で、中心市街地活性化基本計画を策定。「町家の心が息づく語らいのまち・永遠の日本のふるさと遠野」をキャッチフレーズに、その実現に向け、観光施設である「とおの物語の館」や「遠野市立博物館」を整備、あわせて、明治の文豪・柳田國男著作の遠野物語発刊百周年記念事業イベント等のソフト事業の展開により、市民と観光客の回遊と交流が、盛んに進

められてきた。しかしその矢先、3・11東日本大震災に見舞われ、市役所本庁舎全壊、震災時には内陸部と沿岸部を結ぶ、後方支援拠点の役割を担った影響で当初大きく掲げた観光客数は減少に転じた。

この事を踏まえ、翌平成24年にはこの活性化基本計画を更に進化させるべく、本庁舎整備事業や、まちなか再生事業を含めた、公的施設全体のあるべき姿について検討する市民50人による「遠野スタイルによる庁舎機能のあり方を語る市民懇話会」を設置。1年かけ7回の審議結果を受け、市の整備方針を決定。更にその整備方針を総合的に検証するため、まちづく



遠野市でのまちづくり常任委員会 行政視察

りに精通した外部有識者7名で構成する「進化まちづくり検証委員会」に依頼。平成26年2月まで4回開催し、その検証結果を市議会全員協議会へ報告。その後、4回の市民説明会、7回の市民ワークショップにおいての140の提言を頂くなど、市民との徹底した議論を経て、平成28年4月、第1期計画を更に進化させた「市役所本庁舎を核としたまちづくり」がスタートした。将来の人口減少時代に向けた準備として、機能の集約、市街地の賑わい創出、高齢者など交通

弱者への対応等を考え、場所を公共交通機能の充実している駅舎整備を含む駅近隣での整備を提言。まちづくりの途中変更という、災い転じて、市民みんなで作る素晴らしいまちが出来る事を委員一同願った次第である。

(文責 富樫 誠)



レンガ造り2階建ての特徴ある遠野駅



遠野物語

開かれた議会を目指して

第4回 市民と議会の意見交換会

5月27日(金)、28日(土) 4会場で開催

※今回は紙面の都合により主なものを掲載しましたが、後日、すべての内容をホームページにて公開しますのでご覧下さい。

項 目	主 な 質 問 ・ 意 見 内 容
第 1 回 定 例 会 連 関	・ 辺地事業は黒川地区に集中しているが、築地・乙地区は該当にはならないのか。
	・ 胎内市美術館の事業費はいくらか、入館者数の見込み、入館料は。
	・ 洋上風力発電の進捗状況について分かったら教えてほしい。
	・ 中条駅西口開発整備には多額の資金を投入すると思うが、メリットはあるのか。
	・ 少子化が進み、若者が少なくなっている。中学校再編成の質問が載っているが、中条高校の存続を市議会としても全力を尽くしてほしい。
	・ 中小企業、小規模企業振興基本条例があらたに設けられたが、条例の意義や今後どう展開していくのか。また、他市では、農業を含めた条例をつくっているところもあり、胎内市の実情から農業を含めた形の産業振興条例であるべきではないか。
	・ 予算や政策を作るのは市職員の仕事だが、議員が進むべき方向性を示し、そのための予算・政策の必要性を提案するようなシナリオやプランを作ってお互いに議論すべきである。
防 災 関 連	・ 熊本地震において、胎内市はどのような支援活動をしたのか。
	・ 塩の湯温泉は一時避難場所になっているが、耐震検査は終わっているのか。各集落センターの耐震工事補助は公共施設の対象から外されているが、指定された避難場所も含め耐震診断だけでもしてほしい。
観 光 事 業 関 連	・ 市の海水浴場は村松浜だけだが、もっと観光地として浜を整備して活性化を図っていくように検討してもらいたい。夏の時季だけでもホームページでPRしてほしい。
	・ 商工観光課で実施している探鳥会だが、奥胎内は野鳥の宝庫。各課長には案内があるようだが、せめて議長、副議長に案内があってもよいのでは。
	・ 市の活性化という意味で、春に完成した胎内市美術館はじめ、市内には城の山古墳や会津八一、米粉など豊富な観光資源がたくさんある。新たに立ち上がった観光ボランティアや地域おこし協力隊等と調和を図りながら、外部から人を呼ぶような政策を考えていただきたい。
	・ 観光に関する事で、馬頭観音まつりは下赤谷区長さんを先頭に頑張っているが、神事ということで行政が動かない。イベントとして政教分離などと言わず、観光協会ともども応援してほしい。
	・ 観光協会のホームページは、3月31日から変わっていない。ホームページを更新しないのはどうなっているのか。
ス ポ ー ツ 関 連	・ NPO胎内が設立されたが、各団体は組織的に機能していないのでは。また、高齢者スポーツにも予算を付けてほしい。
議 会 関 連	・ 昨年の意見交換会で議員定数を削減し、議員報酬を上げる話であったが、その経過は。 ・ 今回の意見交換会の内容は、議会報やホームページに掲載するのか。
地 域 の 題	・ 北成田は、新発田市に近いので家族で新発田県立病院に送迎しているが、のれんす号を新発田方面まで回せないものか。
	・ 消雪パイプ敷設工事計画、優先順位や進捗状況はどのようになっているのか。
	・ 松くい虫が付いた木は市で片づけるが、枯れそうな木や倒木は片づけてくれないが措置方法は。
	・ 側溝などの危険箇所の早急な改修および是正をお願いする。
	・ 村松浜海岸の浸食問題で、消波ブロックを入れてほしいと市に要望したが、被害が出ている場所が優先とのことだった。白砂青松を残してほしい。
そ の 他	・ 総合体育館の2階部分の観客席2～3列目から下が見えないので、壁からアクリル板に変えて見えるようにしてほしい。
	・ 女性活躍が叫ばれている中、市職員の中で管理職の女性がいない。また、市議会の定数を2～3減らすとしているが、女性議員がいない。女性議員の枠を作っては。

そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道管の老朽化対策については、計画的に整備していると思うが、具体的な計画が見えるようインフラ整備強化に力を入れてもらいたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洋上風力については、環境・漁業・採算性のリスクが考えられる。再生エネルギーは他にも地熱発電、太陽光、バイオマス、小規模水力発電などがある。洋上風力事業は市にとって恩恵があるのか精査、検証して評価していくべきだ。大規模開発事業に市が抱えていくのは、時期尚早ではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後さまざまな課題について市が本格的に取り組むと思うが、総合計画策定などコンサルタント頼みでなく、市民ないし市役所が力をつけて、やりきる姿勢が必要と感じる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟日報で地方創生事業について掲載されていたが、県内30市町村で計画書を作るのに一番金額が多い。胎内市では汗も流さず外部委託したのでは。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員の資格制、登用制はご存知か。改定していくとかその制度が無いのであれば作成し、指導・育成する計画を実行していくことが重要で、そういう制度を議員の皆さんが良いのは生かして、悪いのは正して行くことが先決だと思う。男性、女性だからどうの、新人職員だからどうのだけでなく、全職員に対する教育制度について、すべて市に任せるのではいけないと思う。



黒川地区公民館 (5月27日)



産業文化会館 (5月27日)



築地農村環境改善センター (5月28日)



きのと交流館 (5月28日)



産業文化会館で行なわれた意見交換会

米粉普及の活動状況をはじめ、米粉の魅力や可能性について話し合われた一方、「米粉を買う場所が少ない」、「コスト高」、「商品開発や販売・PRを行う活動拠点がない」などの多くの意見も聞かれた。

議会では、今後も関連団体や市民から協力をいただきながら、条例制定に向けて取り組んでいく。

7月5日、議会では、当市が発祥の地である米粉の更なる普及と消費拡大の促進を目的とした米粉条例〔仮称〕の制定を検討するため、市内で米粉商品の開発をはじめ、米粉の普及活動を展開している、たいない「食」のわいわい会議と意見交換会を実施した。

7月5日、議会では、当市が発祥の地である米粉の更なる普及と消費拡大の促進を目的とした米粉条例〔仮称〕の制定を検討するため、市内で米粉商品の開発をはじめ、米粉の普及活動を展開している、たいない「食」のわいわい会議と意見交換会を実施した。

平成27年度 政務活動費収支結果報告

平成27年4月1日～28年3月31日

平成27年度会派別政務活動費収支結果

(単位：円)

科 目	政務活動費の内訳	政和会 6名	緑風会 5名	志政会 3名	日本共産党	公明党	農政会	新風の会
収入	1,296,000	432,000	360,000	216,000	72,000	72,000	72,000	72,000
補助金内支出	1,296,000	432,000	360,000	216,000	72,000	72,000	72,000	72,000
返還金	4,468	0	0	0	0	0	4,468	0
支出	1,470,042	570,287	368,493	222,515	75,127	89,412	67,532	76,676
調査研究費	523,156		358,617	0	75,127	89,412	0	0
研修費	872,408	570,287	0	222,515	0	0	39,803	39,803
資料作成費	60,282	0	0	0	0	0	23,409	36,873
資料購入費	14,196	0	9,876	0	0	0	4,320	0
広報費	0	0	0	0	0	0	0	0
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0
会 員 名	会長 富 樫 誠 幹事 長 森 田 幸 衛 会 計 天 木 義 人 会 員 渡 辺 俊 一 会 員 小 野 徳 重 会 員 森 本 将 司	渡 辺 宏 行 薄 田 智 八 幡 元 弘 坂 上 清 一 佐 藤 陽 志	高 橋 政 実 桐 生 清 太 郎 渡 辺 秀 敏	丸 山 孝 博	渡 辺 栄 六	榎 本 丈 雄	佐 藤 武 志	

平成27年度議員別政務活動費収支結果

(単位：円)

科 目	薄田 智 (緑風会)	森本 将司 (政和会)	八幡 元弘 (緑風会)	佐藤 陽志 (緑風会)	渡辺 秀敏 (志政会)	坂上 清一 (緑風会)	小野 徳重 (政和会)	渡辺 栄六 (公明党)	天木 義人 (政和会)
収入	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
補助金内支出	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
返還金	0	0	0	0	0	0	9,280	23,330	27,050
支出	73,516	48,511	56,784	89,566	55,711	53,316	38,720	24,670	20,950
調査研究費	0	48,511	0	5,000	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	37,891	0	0	0	18,991	0	5,220	11,396	0
資料購入費	35,625		56,784	0		53,316	33,500	712	20,950
広報費	0		0	84,566	36,720			12,562	0
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	佐藤 武志 (新風の会)	榎本 丈雄 (農政会)	森田 幸衛 (政和会)	高橋 政実 (志政会)	桐生清太郎 (志政会)	富樫 誠 (政和会)	渡辺 宏行 (緑風会)	丸山 孝博 (日本共産党)	渡辺 俊 (政和会)
収入	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
補助金内支出	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
返還金	13,635	0	0	22,318	0	8,904	0	0	0
支出	34,365	48,134	61,560	25,682	50,199	39,096	62,052	48,545	49,368
調査研究費	10,092	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	23,561	32,537	0	15,336	7,923	0	0	14,522	0
資料購入費	712	15,597	0	9,876	42,276	39,096	62,052	34,023	0
広報費	0	0	61,560	470	0		0	0	49,368
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成28年8月12日 発行責任者 議長 渡辺俊



議会 の動き

第3回定例会日程(予定)

8月	26日	議会運営委員会
9月	2日	本会議(初日)
	8日	総務文教常任委員会
	9日	厚生環境常任委員会
	12日	産業観光常任委員会
	13日	まちづくり常任委員会
	20・21日	本会議(一般質問)
	26日	決算審査特別委員会(一般会計)
10月	27日	決算審査特別委員会(特別会計)
	28日	決算審査特別委員会(企業会計)
	3日	本会議(最終日)



私は読書が好きです。学校では、図書委員長として、多くの人に本を読んでもらえるように工夫しています。ファンタジーや推理小説など、これからいろいろの本を読みたいです。



きのと小学校 6年生
 おおいずみ あかね
大泉 茜
 さんの作品です。

表紙の写真「胎内市を担う子どもたち」

私たちの将来の夢は…浮須 太郎さん(小4)	日本代表のサッカー選手
健汰さん(小2)	アルビレックス新潟のサッカー選手
華子さん(6歳)	歯医者
小百合さん(3歳)	看護師

- ◎第1回定例会の議決結果について(P2)
- ・特に問題はないが、もう少し字を大きくして他の所と同様に色を付けた方が読みやすい。
- ◎「平成28年度一般会計予算」及び、「北朝鮮のミサイル発射に抗議し、核兵器・ミサイルを放棄させることを求める意見書」を提出することへの討論について(P3)
- ・特に反対討論について、P2の表のx表記だけではわからない理由が記されているので良い。
- ◎会派代表質問・一般質問について(P4～P15)
- ・春らしいピンク色刷りで文字も目立ち、読み易くて良かった。
- ◎閉会中所管事務調査・行政視察報告について(P16～P17)
- ・「厚生環境常任委員会」の内容は、施設の概要と文責者のコメントがはっきり色を使って分けられています。他の委員会の内容は、概要とコメントが一緒になって記載されているの分かりませんでした。
- ◎常任委員会審査について(P18～P19)
- ・文字数は多いが、太字や色分けされていたので、すらすらと読めました。
- ◎平成28年度予算審査特別委員会について(P20～P21)
- ・写真が多く見易くて良かった。
- ◎表紙・裏表紙(傍聴記、編集後記等)について
- ・背表紙の色と二色刷を揃えられていてまとまっていると感じました。先回の緑は良かったので他の色の場合を心配していましたが、問題なく安心しました。今後の色も期待します。
- ◎議会報に関する意見、提言
- ・今回のベースのピンク色は春らしく見た目が良いのですが、とても読みにくかった。

議会報モニターアンケート結果(主なもの)
 No. 47(平成28年5月2日発行)を見て

編集後記

胎内市には空き家が数百年あり、空き家バンクが立ち上がり、空家バンクが立ち上がりました。すでに数件の登録があり、商談も開始されています。もったいない“の精神で使える物件は有効に活用されることを願います。

さて、今年も東洋経済新報社にて行われた全都市「住みよさランキング」にて胎内市は813都市中、昨年の89位から74位と順位を上げました。また、県内においては20市中4位から2位に浮上しています。住みよさは、行政だけが作るものではありません。総合計画策定に関わり共に未来を志向する方々、米粉普及のため日夜研鑽を続ける「わいわい会議」の皆さん、他にも文化・芸術・スポーツなど、あらゆる分野で市民の活動があります。(人口)という分野において、胎内市が一つの手本になる時が来るかもしれません。ただ、空き家や貧困などの問題は数多くあります。更なる住みよさを目指し、共にこれからの胎内市のまちづくりを進めていきたいと思います。

(佐藤陽志 記)

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

〒959-1269 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社エンジユ